

発言相手の行動変える

気鋭の国際政治学者、三浦瑠麗さん(40)は歯切れのいい発言でも知られる論客だ。時にSNS上で批判にさらされながらも落ち着いた姿勢で発言し続けるのはなぜか。代表を務める山猫総合研究所のオフィスを訪ねた。

命と経済

「コロナの時代になって生活は変わりましたか。」
三浦 子供の小学校が一斉休校となり、3月から7月になるまで子供と猫をつれて出勤。娘の保育園児時代の友達もオフィスの会議室に集め

て、学童保育みたいなことをしていました。

「学校の役割まで担いながら研究し、テレビでも以前と変わらず、歯切れよく発言されてきましたね。新型コロナウィルスが騒がれ出した頃から、命と同時に経済の大切さを主張されていたことは注目しました。」

三浦 新型コロナが、エボラ出血熱のような強力なものではないことがわかってきたこともありますが、何より、経済が止まると、途上国を中心に栄養不良などから子供だけでも多大な死者が出るというユニセフの報告があったからです。

「当時、経済について語る」と「命の犠牲」という反発も強かったでしょう。
三浦 しかし、働かないと生きていけない中小の事業主はいまです。失業率が高まれば自殺率が高まる。経済は、子供をはじめ弱い立場にある

声なき声

人々の命の問題に直結している。
三浦 それどころか、公園でボール遊びをしている幼児にどなる大人の姿が日々伝えられていた。
三浦 テープが貼られたのを見た時には驚きました。もし、高齢者用の歩行器や手すりテープが貼られたら、どう思

いますか。少子高齢化の日本では子供はマイノリティ。彼らのことはなかなか共感されません。
三浦 あの子どもたちは重症化リスクが少ない若者で、しかも寮生活。お年寄りと触れ合うことは少ない。だとすれば、集団免疫ができていれば試合にも堂々と出られる。そこで「大手をふっていけばいい」と、テレビで呼びかけました。

「感染を悪と見る人からすれば、「不謹慎な発言」と思うでしょうが、
三浦 発言が炎上し、叩かれるくらいなら、発言はやめようとは思わないのですか。
三浦 いじめたことを目撃する、目の前で転んでしまった子供がいると、つい無視できず、駆けつけたいくなる。



国際政治学者 三浦瑠麗さん

「孤独」

「『シベリア人の戦争』以来、軍について研究してきましたね。なぜですか。」
三浦 23歳の時に始まったイラク戦争がきっかけです。軍人という「好戦的だから統制、抑圧が必要だ」という意見が、学問の世界でも主流です。でも、戦争が始まってから米軍兵士や退役軍人のブログを読むと、彼らの多くはむしろ戦争に反対している。そして、研究を進めると、冷戦後に起こった戦争では、軍人は反対し、市民がむしろ戦争をやりたいがっていたことも明らかになってきた。

「これでは軍がかわいそうだな」。知ったからには、書かなきゃ、と軍ではなく、テロクラシーの攻撃性について本にまとめました。
三浦 はい。3歳で視力が0.1以下。小学生の時から眼鏡をかけ、うまく人に視線を合わせる事ができず、図書館にも入りたがらない。少人数の授業で「くした」ことを回想しながら、「孤独」という視点から、自分の感じてきた生きづらさを書きました。

「孤独」という視点から、自分の感じてきた生きづらさを書きました。

自制心

「それにしては、いつも落ちついて話しますね。」
三浦 発言の目的は意見を述べたり自己正当化ではなく、相手の行動を変えたいことじゃないですか。ゴールに向けた適切な手段を私は取ります。

「いつからですか？」
三浦 ちっちゃい時からです。5人兄弟の真ん中で、けんかが起きると説得、懇切丁寧型で仲裁するのが私の役割でした。いじめ体験で、より自制心の塊になりました。

「自制心」
三浦 ちっちゃい時からです。5人兄弟の真ん中で、けんかが起きると説得、懇切丁寧型で仲裁するのが私の役割でした。いじめ体験で、より自制心の塊になりました。

「自制心」
三浦 ちっちゃい時からです。5人兄弟の真ん中で、けんかが起きると説得、懇切丁寧型で仲裁するのが私の役割でした。いじめ体験で、より自制心の塊になりました。



いじめ的なことを目撃すると無視できない

「叩かれるくらいならやめようとは？」
三浦 ファクト重視の理系、農学部です。学んだせいなのか、自分の意見や仮説が崩されるのはむしろ喜びです。だって、より大きな世界が目の前に広がりますから。
最近ではアマゾン有料サービスのCMに出た際、過去の発言が批判され、解約運動まで起きました。これには反論しませんでしたね。
三浦 そんなに醜い言論でも認めるのが表現の自由で、それは私の姿勢です。ただ、相手の言論が気に入らず、解約運動まで起す人が、同じ目に遭った時、どうするのだろうか、とは思っています。
いすれにしても悔しみに加えられた言論には、基本、黙って頬を打たれるままにします。自制心と品位を大切にしたいからです。

1980年、神奈川県生まれ。神奈川県立大卒業後、東大大学院法学政治学専攻博士課程修了。著書『日本に絶望している人のための政治入門』、『21世紀の戦争と平和』など多数。近著に『私の考え』（新潮新書）。



叩かれるくらいならやめようとは？

「叩かれるくらいならやめようとは？」
三浦 ファクト重視の理系、農学部です。学んだせいなのか、自分の意見や仮説が崩されるのはむしろ喜びです。だって、より大きな世界が目の前に広がりますから。
最近ではアマゾン有料サービスのCMに出た際、過去の発言が批判され、解約運動まで起きました。これには反論しませんでしたね。
三浦 そんなに醜い言論でも認めるのが表現の自由で、それは私の姿勢です。ただ、相手の言論が気に入らず、解約運動まで起す人が、同じ目に遭った時、どうするのだろうか、とは思っています。
いすれにしても悔しみに加えられた言論には、基本、黙って頬を打たれるままにします。自制心と品位を大切にしたいからです。